

令和6年度 5年生

絆～きずな～新聞

生産者の努力や工夫にびっくり！？

味の素工場で工業生産について学ぶ

社会科では、食料生産についての学習を終え、工業生産の学習に入りました。その学習の一環として、川崎にある「味の素工場」で実際の生産の様子を見ながら、生産者の努力や工夫を学びました。

工場では、映像による説明とラインの様子の見学を主に行いました。子どもたちは、360度に映し出された味の素の会社の紹介動画に圧倒され、子どもたちは興味津々。その後のスタッフの説明や見学では、たくさんメモを取る姿や働く人の様子をじっくりと見る姿が多くみられました。



味の素の生産を通じて、原材料の調達から消費者へ渡るまでのサプライチェーンの大切さを学び、働く人の思いや工場の努力や工夫を肌で感じることができていたように感じます。

学校に戻って弁当を食べた後は5時間目の授業。「5時間目があるなんて!」と、前日までは嫌がっていた子どもたちでしたが、とても集中して活動していました。そのことから今回の工場見学は充実していたのではないかと思います。

以下、子どもたちの感想です。「工場見学に行き、いつも何気に見ていた製品がとても身近に感じました」「機械が商品を箱に入れたり、箱を積んだりする様子を見て、『機械はすごいなあ。人が少なくてもたくさん物を作れるんだ』と思いました」「味の素を作るときに出たサトウキビの残りを家畜のえさや肥料に再利用して地球を壊さないように工夫していることがわかりました」「これだけ工夫しているからおいしいものができるといことがわかりました」

社会の学習だけでなく、後期の総合的な学習の時間で行うSDGsについても知ることができ、今後の子どもたちの学習の糧となりました。

